



新年あいさつ:「変えた人々」の自覚



新年あけましておめでとうございます。

2026 年が始まってまだ 1 か月ですが、あまりにも多くのことが起きて困惑しています。ベネズエラ大統領「誘拐」、グリーンランド「領有」騒動、米国移民局「射殺」事件、イラン大虐殺、国内ではやまぬインフレに、唐突な解散総選挙、「中道」新党の設立、消費減税の奇妙な「合唱」、国債価格下落と長期金利上昇など、既存の「秩序」の揺らぎや変化を感じます。あまりの変化に、そんな「秩序」がそもそもあったのかという気分にもなります。

私たちは濁流に吞まれる「木片」なのでしょうか。社会運動論を論じる富永 (2025) (※1) は、私たち自身が社会を変えて

いるにもかかわらず、私たちがそれを実感できていないと指摘します。今の社会の有り様は良くも悪くも、私たちの過去の行動の結果です。労働組合に関わるようになって、私は、日常の活動が社会＝職場を「変えた」という実感をよく持つようになりました。大きな変化ではないかもしれませんが、確実に変えています。

私たちは現在、歴史の「濁流」の中にいるのは間違いありません。私たちはその中で翻弄される「木片」ではなく、“自ずと” 社会を「変えた人々」になります (「自ずと～なる」のがポイント)。本年も、みなさんとともに、職場を「変えた」実感を持てる組合活動に取り組みたいです。

※1: 富永京子 (2025) 『なぜ社会は変わるのか』講談社現代新書

(執行委員長・清水池義治)

ハラスメントから身を守るための情報公開講座 (4)

(前回から) この開示請求に対して 7 月 20 日に北大から総務省の情報公開・個人情報保護審査会に諮問が行われ、約 3 か月後の 10 月 17 日に答申が行われています。新たな個人情報は開示されませんでした。北大は審査の過程で「本人に係る労働契約不更新理由書の作成に関する文書」の作成理由を説明し、個人情報を除いてその説明が総務省のホームページで答申書として公開されています。(令和 4 年(独個)諮問 第 5018 号) その説明によれば、不更新理由書の作成以前に担当部署やハラスメント相談室などとやり取りをした形跡はなく、配置転換などの雇い止めを回避する企業努力もなく、労働契約不更新と

いう結論ありきで労働契約不更新理由書を作成したことが分かりました。その間職組は、団体交渉や北海道労働委員会へのあっせんなどを行いましたが、北大は一切応じず、この答申書を証拠として弁護士さんをお願いして労働審判を起しました。労働審判では、労働審判委員会が、障がい者に対する合理的配慮が欠けていたことを理由に、北大が A さんに解決金 14 万円を支払う内容の調停案を示しましたが、北大はそれすら応じず訴訟に突入しました。訴訟でも北大は同じような主張を繰り返し、証人尋問まで行われましたが、尋問後裁判長から和解の勧告があり、2024 年 8 月 8 日に和解が成立しました。雇

い止めから2年以上経っており新たな職場が見つまっていることなどから北大への職場復帰を諦める代わりに、「(北大が)雇用する障害者に対し、障害の内容に基づき合理的な配慮をする」ことなどの和解条件を認めさせたものとなっています。和解条件に口外禁止の条件があるので解決金の有無などは分かりませんが、訴訟での弁護士費用や新聞などでの訴訟の報道でのイメージ悪化を考えれば、労働審判の調停案に応じず、訴訟に突入したことは北大の判断ミスであったと言わ

ざるを得ません。ハラスメント相談室に相談しても結局不当な雇い止めを止めることができず、北大の情報公開・個人情報保護担当もずさんな労働契約不更新理由書の作成の問題点を指摘できず、「大学としての手続きに瑕疵はなく、適正に対応しております。」といった主張に組織として何の反省もあるようには現時点では見えません。これらのずさんな対応により、北大は障がい者

の雇用率が 2.15% (法定雇用率は 2.8%)、不足人数は 37.5 人と、法律の最低基準すら守れず、大規模国立大学で飛びぬけて悪い数字となっています。いずれにしても、A さんは 2 年以上にわたって戦い抜き、北大に「障害の内容に基づき合理的な配慮をする」和解条件を認めさせたのですからその貢献を称えと共に、大学当局もようやく重い腰を上げて和解条件の履行の検討を始めたようですから、北大で雇用される障がい者や周りの教職員の労働環境が改善されることを期待します。次回は、ハラスメント対応や開示請求を行う際のアドバイスについて書いて行きたいと思います。

(副執行委員長・山田)



厚労省発表
雇用率

2025 年 12 月 18 日リアルエコノミ

二に宿舍解体や解体後の跡地利用などについて掲載されています。



【コラム：北大の風景】

大学に向かう途中に取り壊し中の中央第一職員宿舍 12 号棟がありました。調べてみると建築されたのは 1967 年 (昭和 42 年) とのこと。

北海道大学教職員の生活を支えてくれた 58 年間、どうもありがとうございました。(書記長・岡坂)



国立大学法人運営費交付金等についての文部科学省の基本的考え方

文部科学省は 1 月 29 日の「文部科学省新着情報メール配信サービ」で、「国立大学法人運営費交付金等についての文部科学省の基本的考え方」を明らかにしました。、その中で、「様々な問い合わせをいただいていること等を踏まえ、文部科学省としての基本的考え方を整理」

し、「令和 7 年度補正予算については、国立大学法人の多様な教育研究基盤を支えるため、421 億円を人件費や物件費を問わず柔軟に執行可能な運営費交付金で措置することにより、令和 7 年度だけでなく、令和 8 年度の物価高騰、人件費上昇にも対応できるものとして措置」したことを記載しています。



2 月 8 日は衆議院議員選挙投票日

国会でまともに予算案審議もすることなく、高市首相による衆議院が 1 月 23 日に解散となり、厳冬期のこの時期に投票日です。

寒さと悪路の中ですが、要求実現のチャンス、賢い選択をして国民生活改善するため投票に行きましょう！



ご存知ですか？

軍学共同反対連絡会ニュース第 109 号で、工学部班・山形氏の記事「北海道大学と安全保障技術推進制度～北大は軍学共同の先駆けを目指すのか～」が掲載されています。2015 年からの状況を詳細にまとめた 4 ページにわたるもので、

ぜひお読みください。

また、第 108 号では、北大や北見工大など今年度に安全保障技術研究推進制度で採択された 11 大学へ 8 項目にわたる公開質問書を送り、その内容が掲載されています。回答期限は 2026 年 1 月 31 日となっており、北海道大学はどのような回答をする注視する必要があります。



第 109 号 ↑
第 108 号 ↓



2025 年度「定年・退職記念の集い」ご案内

定年や退職で北大を去られる組合員の方々をお送りする「定年・退職記念の集い」を今年も開催します。組合全体の交流の場&年度納会としても準備しておりますので、お誘い合わせの上ぜひご参加ください。

日時 : 2026 年 3 月 4 日 (水) 18:30～

場所 : 札幌 [中村屋旅館](#) (中央区北 3 条西 7 丁目)
⇒ 緑苑ビル (道庁西側)

参加費 : 2,000 円、非常勤職員は 1,000 円

ご招待 : 定年、退職される方、新規加入組合員は、参加費無料です。

申込 : 2 月 20 日 (金) までに下記フォームからか組合書記局へお知らせください。

【申し込みフォーム (Google Forms)】 ⇒
<https://forms.gle/hpfPjLKjRBtjhqGPn8>



2 月 25 日人事院北海道事務局への要求書提出と交渉

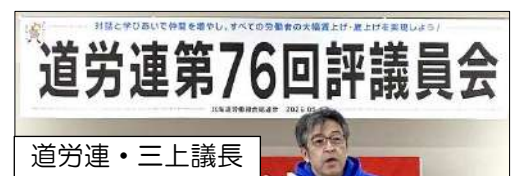
北海道公務関連労働組合評議会 (道公務共闘) と北海道国家公務関連労働組合協議会 (北海道国公) は 2 月 25 日 (水) に賃金や職場の労働条件改善を求めて人事院北海道事務局に対して要求書を提出し、交渉を行います。要求書は、1) 統一要求書、2) 非常勤職員制度の抜本改善に向けた重点要求書の 2 つになる予定です。この交渉には書記局・大島が参加します。交渉参加を希望される方は書記局・大島までご連絡ください。(2 月 25 日は前期入試ですから無理ですね…)

「組合員が主人公」をつらぬき変化を前進につなげる春闘へ

2026 年春闘方針決定 — 第 76 回道労連評議員会

道労連は、1 月 17 日に「第 76 回評議員会」を開催。緊迫する国際情勢や国内の政治状況、労働者をめぐる前進面と課題を報告し、組合員が主人公の活動で仲間を増やし、要求前進を勝ち取るための春闘方針を満場一致で決定しました。

全大教北海道からは大島事務局長が参加し、大学財政危機から来た 2024 年度人勧の 1 年遅れでの実施されたこと、教員へのアンケート実施、組合員拡大等について発言しました。



教職員共済生活協同組合に加入しませんか？

教職員共済は、大学・高専をはじめとする学校・教育機関等に勤務する方のみが加入いただける「職域共済」です。

有期・無期を問わず、非常勤教職員の方も加入できます。

《教職員共済の共済ラインナップ》

- ◆総合共済（月掛金 900 円で 12 種類の保障）、退職時に退職見舞金が出ます
◆トリプルガード（団体生命共済・医療共済）
◆火災共済・自然災害共済 ◆レスキュースリー(交通災害共済)
◆自動車共済 ◆車両共済（車両保険）
◆年金共済 ◆新・終身共済

詳しくは

教職員共済大学事業所HP



【当面する行事など】詳細は北大職組ホームページ[「諸団体の行事」](#)からご覧ください。

- 2/8 衆議院議員選挙投票日
- 2/10 全ての争議解決をめざす「いちのひ」行動 18:20～JR 札幌駅南口
- 2/11 [2. 1 1 紀元節復活反対道民集会](#) 10:00～ホテルライフオー・札幌
- 2/14 全大教北海道・東北地区合同単組代表者会議 13:00～オンライン
- 2/18 [ケア労働者の大幅賃上げをすすきの交差点アクション](#) 19:00～ススキノ交差点
- 2/25 道公務共闘人事院北海道事務局交渉 15:00～人事院北海道事務局
- 2/25 北海道国公人事院北海道事務局交渉 16:15～人事院北海道事務局



紀元節復活反対！

2.11 道民集会

「靖国神社の存在とされている2月11日は、侵略戦争を遂げた首魁の顕彰にせむるものではない」として抗議の声をあげた。この集会は、戦後の47年間で初めてと報道した。侵略戦争の道義的責任を問う「戦犯追悼会」もあつた。1966年、平塚市では道民の反対の声を押し、なつて「靖国神社の存在」として抗議の声をあげた。1966年、平塚市では道民の反対の声を押し、なつて「靖国神社の存在」として抗議の声をあげた。

靖国神社の存在とされている2月11日は、侵略戦争を遂げた首魁の顕彰にせむるものではない」として抗議の声をあげた。この集会は、戦後の47年間で初めてと報道した。侵略戦争の道義的責任を問う「戦犯追悼会」もあつた。1966年、平塚市では道民の反対の声を押し、なつて「靖国神社の存在」として抗議の声をあげた。

「政教分離はなぜ原則なのか」

なかにま

中島 光孝さん

1949年 東京都生まれ
1970年 東京大学文学部卒業
1973年 東京大学文学部助教授
1978年 東京大学文学部教授
1983年 東京大学文学部教授
1988年 東京大学文学部教授
1993年 東京大学文学部教授
1998年 東京大学文学部教授
2003年 東京大学文学部教授
2008年 東京大学文学部教授
2013年 東京大学文学部教授
2018年 東京大学文学部教授
2023年 東京大学文学部教授



日時

会場

主催

2026年2月11日 水

ホテルライフォート札幌 2
(札幌市中央区南1条西1丁目)

靖国神社国営化阻止連盟
日本国憲法改正阻止連盟
日本国憲法改正阻止連盟



問い合わせ：靖国神社国営化阻止連盟事務局・靖国神社国営化阻止連盟事務局
（札幌市中央区南1条西1丁目 北海道新聞ビル 111）

3月が、全然足りない！

ケア労働者の 大幅賃上げを

すずきの交差点アクション

ケア労働者大幅賃上げ、制度改善をはからなく、お支拂の減額を目的とする賃上げを
求める既決アクションを行います。現場の労働者多くの人たちに知らせ、即座報酬
や介護報酬など「生活費の減額を押し上げを！」の声を広げ、26 春闘で既決に
反対するつもりです！

2月18日[水]19:00-19:30

すずきの交差点前（ニッカの看板下）



「すずき」の交差点前
2月18日
19時00分～19時30分

それらに反対
を表明したい！
あなたも参加！



**2カ
月**



主催者 **みんなのユニオン連労組** （日本共産党、日本労働組合総連合会）

全労連は 26 国民春闘期に学びあいたい 6 つのテーマを深める実践講座を開催しています。

[illegible]

次回は2月
20日です



補食に使うとき
簡単にできると手持ちが
ラジにひきかえ

読ってみて思った！とき
はひきかえ

カモンカモン
パンフレット

お楽しみ会へ



一人では弱くても、
みんなが集まれば「力」になる！



組合員を増やし、労働条件・職場環境改善を進めましょう